

奈良県教育委員会陳情処理規程第2条の規定により、請願書を提出する。

奈良県教育委員会

令和元年(2019年)7月8日

荒井知事が吉田教育長に求めている「県立高校耐震化と高校再編についての検証作業」を

速やかに行う事、並びに報告書作成の進捗状況を公表することを求める請願

請願者

住所

請願者

住所

「本文(要旨)」

昨年12月28日の毎日新聞の報道の通り、吉田教育長は荒井知事から「耐震化が遅れた問題で経緯の検証」を求められている。これに対し教育長は「時間がかかっても必ずやる。」と報告書の作成を行う旨の返答をしている。

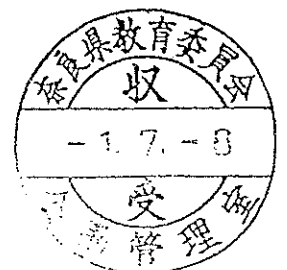
しかし令和元年7月4日の毎日新聞の報道では、県教委が検証する方針を決めているにもかかわらず、教育長はこの検証作業についての経緯を全く説明していない。よって発言の通り報告書を速やかに作成するとともに、報告書作成のスケジュールと進捗状況、誰がどのように、いつまでに作成するかを行政文書で公式に発表することを求める。

「添付資料」

- ① 2018年(平成30年)12月28日 毎日新聞
- ② 2019年(令和元年)7月4日 毎日新聞

「理由」

現在の在校生とその保護者に限らず、中学生(進学希望者)やその保護者をはじめ、多くの県民が耐震化と高校再編の見直しを求め続けている。この問題を解決するため教育長の発言通り、経緯の検証作業を一日も早く終わらせ、県民に行政文書を通じて公式に周知することは当然であり、その公表は緊急重大な県民課題である。



# 県教委、報告書作成へ

## 吉田教育長「遅れ、自分に責任」

1/28 15時

吉田育弘県教育長は26日、毎日新聞のインタビューに応じた。奈良高校（奈良市）など一部県立高の耐震化が遅れた問題で、荒井正吾知事から経緯の検証を求められたことを受け、「時間がかかって

この案を出した。どこに問題があるのか」とも述べ、撤回の考えはないと強調した。

にするつもりはなく、自分に責任があると痛切に感じている」と述べた。今後の検証作業では、退職した県教委職員らへの聞き取りや関連文書の確認も行うため、時間がかかるとの見通しを示した。

も必ずやる。報告書のようなものを残しておく」と述べた。

県教委として奈良高などの建て替えの必要性を認識しながら10年以上対策が後回しとなったことについては、「以前の教育長の責任

【新宮達】

県立高再編計画の進め方に、事実上閉校となる平城高（奈良市）関係者らの猛反発を招いたことについて「誠意を持って説明し、いたつもりだったが、できていなかったのは反省」と振り返った。だが、「責任を持って

孝子氏(69)▽無所属新人で  
選民主、国民民主、社民各  
ており、論戦が繰り広げら  
【新宮産】

具に 各陣営は4日朝の届  
け出を済ませた後、出  
発式を行う予定。堀井



リハーサルで届け出書類を確認する県選管の職員ら一県庁で

### 選挙人名簿115万2572人

県選管は、3日現在  
と比べて1万3144  
人減った。  
市町村別で前回と比  
べて増えたのは香芝  
市、葛城市、斑鳩町、  
王寺町、大塚町の5市  
町。増加率が最も高か  
ったのは香芝市(2・  
32%)だった。逆に減  
少率が高いのは野迫川  
村(10・76%)、川上  
村(9・47%)だった。  
海外在住の在外選挙  
人名簿登録者数は82  
4人(男351人、女  
473人)だった。

国指定史蹟天然記念物  
龍河洞  
財団法人 龍河洞保存会  
高知県香美市土佐山田町  
☎0887-53-2144  
冒險コース開放中

近鉄大和西大寺駅前や  
や檀原市など4カ所でも  
も出発式を予定してい  
近鉄奈良駅前でも訴え  
る。田中氏は午前9時  
る予定。

市	計	426244	483656	909900	▲8836
山平	添群郷	1495	1661	3156	▲229
三斑	町町町	7620	8715	16335	▲384
安川	町町町	9133	10403	19536	▲1
三田	町町町	11066	12605	23671	118
田	町町町	3053	3390	6443	▲190
曾	町町町	3467	3788	7255	▲70
御	町町町	2808	3175	5983	▲192
高	町町町	12839	14258	27097	▲242
明	村	613	716	1329	▲99
上	村	721	823	1544	▲135
王	村	2760	3178	5938	▲244
大	村	2298	2556	4854	▲150
下	村	9028	10327	19355	▲172
黒	村	9335	10692	20027	▲222
天	村	13602	14981	28583	▲345
野	村	7126	8383	15509	▲647
下	村	2928	3554	6482	▲527
上	村	7154	7995	15149	▲483
川	村	2283	2625	4908	▲151
東	村	321	346	667	▲114
郡	村	591	670	1261	▲44
合	村	173	192	365	▲232
	村	1457	1479	2936	▲55
	村	386	462	848	▲47
	村	245	241	486	▲138
	村	626	693	1319	▲166
	村	775	861	1636	▲4308
計	計	113903	128769	242672	▲4308
合	計	540147	612425	1152572	▲13144

「第50回記念全国ママ  
さんバレーボール大  
会」県予選で優勝し、  
8月1〜4日に橿原、  
五條両市で開かれる全  
国大会に出場する。メ  
ンバーが3日、市役  
所に上田清市長を訪ね  
て出場を報告。浦西恵  
子監督(56)は「優勝を  
目指します」と抱負を  
語った。  
全国大会は参加チ  
ムを4組に分け、ト



上田市長(後列中央)と記念写真を撮る「城西」パーラー一大和郡山市役所で

## 「情報公開不足だった」

### 県立高再編・耐震 教育長、反省の弁

県立高校の再編・耐震問題を通り、県教委の吉田育弘教育長が3日、毎日新聞のインタビューに答えた。耐震化の取り組みの遅れなどへの反省が根強いことに対し、「情報公開をしっかりとできていなかったことが問題の根源。いちばんの反省」と述べた。

吉田教育長は2015年12月に耐震強度不足が深刻な奈良高(奈良市)の体育館の工事中止を指示したが、「対策を含めてその時に情報公開すべきだったが、当時は思いが至らなかった」と釈明した。

県教委は一連の問題への対応を、検証する方針を決めている。耐震化関連の予算が多く付いた耐震化集中期間(13〜17年度)の前に、県教委は奈良高の校舎を耐震対策の対象から

外しており、その経緯についても調べるとい  
う。  
これまでの聞き取り調査では、既に退職した県教委の当時の担当課長は奈良高の校舎について、18年度以降どうするかの方針を持っていなかったという。  
吉田教育長は「記録が残っておらず、あまりにも分からないことが多すぎる」とも話した。

行政ファイル  
◆県難病相談支援センターが相談メールを放置 県難病相談支援センター(大和郡山市)は2日、2017年12月から約1年半に寄せられた相談メール計9件を放置していたと発覚した。医療費の助成が可能なかを尋ねるなどの内容で、実害は確認されていないという。県健康推進課は「職務怠慢と言われても仕方ない。メールの存在を組織として共有できていなかった」と釈明した。県によると、相談者の一人が先月、メールを3回送ったのに

定例県議会は最終日の3日、256億1727万円を増額する一般会計補正予算案など36議案を可決するなどし、閉会した。

事件・事故  
◆上牧町立文化館で畳が燃える 3日午後1時ごろ、上牧町上牧の町立文化館(鉄骨2階建て)の2階和室から出火。畳などを焼いて鎮火し、けが人は無かった。西和署によると当時、畳の下にある湯を沸かすための電熱器の電源が入っていた。電熱器は通常、畳を取り外して使われるといい、同署が出火の経緯などを調べている。

紙面編集 白桃 健生

寺院主導の新しいお葬式  
(やさらぎ葬・骨葬)  
●葬儀の慌たしさが解消されます  
●葬儀お礼(布施)16万円のみ  
●葬儀社の費用は含んでいません  
(葬儀社(国室)で執り行います)  
●当山本堂(国室)で執り行います  
●宗派を問いません  
※案内書をお送りします

南都十輪院  
7430-8312 奈良市十輪院町27  
TEL(0742)26-6635 FAX(0742)26-6636  
十輪院 検索

奈良県教育委員会陳情処理規程第2条の規定により、請願書を提出する。

奈良県教育委員会

令和元年(2019年)7月8日

平城高校閉校についての説明会を、奈良県教育委員会が主催し、

教育長が出席することを求める請願

請願者

住所

請願者

住所

「本文(要旨)」

昨年6月17日に平城高校体育館で開催された説明会は保護者からの強い要請で行われたものだったが、全く文書資料もない、教育長も不在のものであった。この閉校問題は、対象者が広範囲に亘る平城高校関係者(生徒、保護者、卒業生、奈良県全域に及ぶ進学希望者、地元関係者ら)に対して、重大な精神的苦痛と、様々な実害をもたらし続けている。

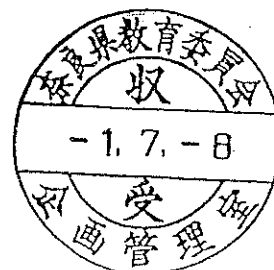
しかしながら、奈良県教育委員会はこの広範な関係者に対して、未だに誠実な説明を行っていない。

「添付資料」

① 2018年(平成30年)7月4日 産経新聞朝刊

「理由」

新聞の報道によると、吉田教育長は「さらなる丁寧な説明をしていきたい」という趣旨の発言をしている。県民は公職にある教育長の発言を重く受け止め、責任ある行動に期待し、その機会を待っていたが、その発言に基づく丁寧な誠意ある説明会は未だになされていない。よって参加希望者は誰もが参加することのできる、教育長が出席をする公的な説明会の開催は当然であり、速やかに行われるべき喫緊の県民課題である。



9357(平日9時~19時、土日祝日9時~17時) 購読のお申し込み ▶ 0120-34-3733(平日9時~19時、土日祝日9時~17時)

# 県立高再編計画を可決 県議会

## 32年から実施

7/4 産経新聞

県議会は6月定例会最終日となる3日の本会議で、県立高校を33から30校に再編する計画案を賛成多数で可決した。平成32年から再編が行われることが正式に決まった。

再編計画では、奈良市内の平城、西の京、登美ヶ丘の3校を閉校し、国際、県立大学付属の2校を新設。国際は登美ヶ丘、県立大学付属は西の京の校舎をそれぞれ活用し、平城の校舎には現校舎の耐震化が難しい奈良が移転する。また、大淀と吉野が奈良

南に、大宇陀と榛生昇陽が宇陀にそれぞれ統合。奈良朱雀は奈良商工、高円は芸術、奈良情報商業は商業に名称を変更する。

本会議では、計画に反対する議員から県教委に対し「在校生や保護者への十分な説明が行われたとは思えず、結論を出す状況に至っていない」と批判の声が上がったが、計画案の議決延期と丁寧な説明を求める請願は反対多数で不採択に。その後、再編計画案を議長を除く42人で採決し、賛成28人、反対9人、退室5人の賛成多数で可決した。

再編計画は6月8日に公表されたが、

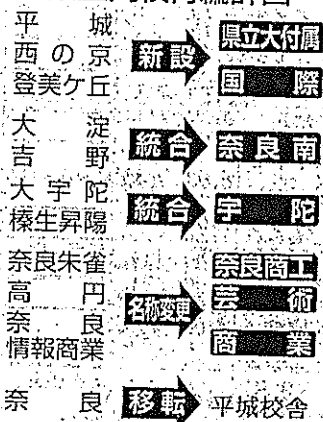
その後は市民から意見を募る機会がなく、閉校予定校の一部の保護者やOBらの不満が噴出。28日には吉田育弘教育

長に対し、平城の野田保隆同窓会長が計画撤回を求め約2万人分の署名を提出していた。

再編計画可決後、吉田教育長は「全体の計画を確実に実行していくが、さらなる丁寧な説明をしていきたい」と述べるにとどめた。

野田同窓会長は、「すこく残念。今後も保護者や在校生への丁寧な説明を県に求めていきたい」と話した。

### 県立高校再編計画



吉田育弘教育